

平成28年度事業報告

1. 平成28年度優秀業績の表彰

平成28年度優秀業績については慎重に検討された結果、

坂田 宏氏 (JA北海道厚生連旭川厚生病院 小児科)

「Invasive pneumococcal diseases in children in Hokkaido, Japan from April 2000, to March 2015」
(Journal of Infection and Chemotherapy Vol.22、No.1 p24-6)

以上、1件に二木賞が授与されることとなった。

庄司 健介氏 (国立研究開発法人 国立成育医療研究センター 感染症科)

「Population Pharmacokinetic Assessment and Pharmacodynamic Implications of Pediatric Cefepime Dosing for Susceptible-Dose-Dependent Organisms」
(Antimicrobial Agents and Chemotherapy 2016; 2150-6 Shoji Kensuke 他5名)

上記の研究業績に対して日本感染症学会北里柴三郎記念学術奨励賞が授与されることとなった。

2. 講演会

平成28年4月15日～16日、仙台国際センターにおいて第90回学術講演会を賀来満夫会長のもとに開催した。

a 会員の業績研究発表

口演：210題

ポスター：378題

b 招請講演

3題

1 質量分析がさらに医学へ貢献するために

司会：慶應義塾大学医学部感染症学教室 岩田 敏

島津製作所田中耕一記念質量分析研究所 田中 耕一

2 Hospital-acquired Pneumonia:From Bench to Bedside

司会：京都大学大学院医学研究科臨床病態検査学 一山 智

Division of Pulmonary and Critical Care Medicine, Department of Internal Medicine,

University of Michigan Medical Center, Ann Arbor, Michigan, USA Theodore J. Standiford

3 An integrative approach to the therapy and prevention of *Clostridium difficile* infection

司会：国立感染症研究所 渡邊 治雄

David Geffen School of Medicine at UCLA/R. M. Alden Research Laboratory, CA, USA Ellie JC Goldstein

c 特別講演

2題

1 感染症研究と地域社会

司会：東京医療保健大学大学院医療保健学研究科 柴 孝也

長崎大学 片峰 茂

2 我が国における感染症危機管理—国立感染症研究所の果たすべき役割—

司会：国際医療福祉大学塩谷病院検査部 倉田 毅

国立感染症研究所 倉根 一郎

d 第90回メモリアル講演

8題

1 日本感染症学会を取りまく現状と将来展望

司会：国立研究開発法人日本医療研究開発機構 岩本 愛吉

一般社団法人日本感染症学会理事長/慶應義塾大学医学部感染症学教室 岩田 敏

2 Antimicrobial resistance control and Global Surveillance

司会：産業医科大学名誉教授 松本 哲朗

Laboratory of Medical Microbiology, Vaccine & Infectious Disease Institute (VAXINFECTIO),

Faculty of Medicine and Health Science, University of Antwerp, Antwerp, Belgium Herman Goossens

3 真菌感染症研究の進歩と将来展望

司会：特定医療法人大坪会北多摩病院/東京女子医科大学 戸塚 恭一

長崎大学 河野 茂

4 わが国における感染症診療の進歩と将来への課題

司会：複十字病院 後藤 元

昭和大学医学部内科学講座臨床感染症学部門 二木 芳人

5 我が国におけるワクチン戦略の展望

司会：東京医療保健大学 木村 哲

川崎市健康安全研究所 岡部 信彦

6 Healthcare Quality and Infection Control in the United States ; new challenges and growing opportunities

司会：東京医療保健大学医療情報学科 大久保 憲

Deputy Director of Division of Healthcare Quality Promotion, Centers for Disease Control and Prevention,

GA, USA Michael Bell

7 我が国における感染症危機管理

司会：東北大学加齢医学研究所抗感染症薬開発研究部門 渡辺 彰

東北大学大学院医学系研究科・微生物学分野 押谷 仁

8 Bacterial Drug Resistance Status in China

司会：愛知医科大学大学院医学研究科臨床感染症学 三嶋 廣繁

West China Hospital of Sichuan University, Chengdu, China FuQiang Wen

e 教育講演

16題

1 変貌する感染症への対策—人材育成から—

司会：大分大学医学部呼吸器・感染症内科学講座 門田 淳一

- 奈良県立医科大学感染症センター 三笠 桂一
 司会：埼玉医科大学病院感染症科・感染制御科 前崎 繁文
 国立感染症研究所真菌部 宮崎 義継
- 2 わが国の侵襲性真菌感染症の最新事情
- 3 C型肝炎ウイルスによる肝発癌とウイルス治療の進歩
 司会：北里大学北里生命科学研究所感染制御・免疫学部門ウイルス感染制御学研究室 I 中山 哲夫
 東京大学医学部感染制御学 森屋 恭爾
- 4 節感染症診療における新規迅速検査の役割
 司会：社会福祉法人新潟市社会事業協会信楽園病院 青木 信樹
 長崎大学大学院病態解析・診断学分野/長崎大学病院検査部 柳原 克紀
- 5 ウイルス 宿主核内相互作用を標的としたインフルエンザ治療薬の可能性
 司会：神戸大学医学部附属病院感染制御部 荒川 創一
 秋田大学大学院医学系研究科情報制御学・実験治療学講座 今井由美子
- 6 救急領域の患者にみられる感染症と感染対策
 司会：東邦大学医療センター大橋病院外科 草地 信也
 慶應義塾大学医学部救急医学 佐々木淳一
- 7 卒後臨床教育と感染症
 司会：公益財団法人東京都保健医療公社荏原病院 大西 健児
 感染症コンサルタント 青木 眞
- 8 集団微生物学のすすめ～バイオフィルムの制御に向けて～
 司会：杏林大学感染症学教室 神谷 茂
 筑波大学生命環境系 野村 暢彦
- 9 Antimicrobial Stewardship Programs を実施するために
 司会：山形大学医学部附属病院薬剤部 白石 正
 京都府立医科大学感染制御検査医学 藤田 直久
- 10 21世紀の薬剤耐性菌の変貌
 司会：国立感染症研究所感染症疫学センター 大石 和徳
 大阪大学医学部附属病院感染制御部 朝野 和典
- 11 ワクチンに関する最近のトピックス
 司会：川崎市健康安全研究所 岡部 信彦
 国立感染症研究所感染症疫学センター第3室（予防接種室） 多屋 馨子
- 12 エボラウイルス研究の最前線
 司会：防衛医科大学校内科学（感染症・呼吸器内科） 川名 明彦
 北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター 高田 礼人
- 13 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌等多剤耐性菌の状況
 司会：東北医科薬科大学薬学部臨床感染症学教室 藤村 茂
 国立感染症研究所細菌第二部 柴山 恵吾
- 14 “One Health”時代の感染症とリスクコミュニケーション
 司会：東京慈恵会医科大学感染制御部 堀 誠治
 TBS テレビ報道局解説委員 小嶋 修一
- 15 抗酸菌感染症の現状と将来展望
 司会：長崎大学大学院医薬学総合研究科展開医療科学講座呼吸器内科学分野 迎 寛
 新潟大学大学院医歯学総合研究科呼吸器・感染症内科学分野 菊地 利明
- 16 ベクター感染症研究の最前線
 司会：長崎大学熱帯医学研究所ウイルス学分野 森田 公一
 東京慈恵会医科大学熱帯医学講座 嘉糠 洋陸

f 基調シンポジウム

“One Health：人・動物・環境のトータルマネジメント”

- 司会：東北大学大学院医学系研究科内科病態学講座感染制御・検査診断学分野 賀来 満夫
- 1) “人”in One Health：感染症・耐性菌問題で今しなければいけないこと
 東邦大学医学部微生物・感染症学講座，同感染管理部 館田 一博
- 2) “動物”in One Health：人獣共通感染症の克服戦略ーインフルエンザを例にー
 北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター 喜田 宏
- 3) アジア大陸から越境輸送されてくる大気バイオエアロゾルの2つの顔
 弘前大学理工学部自然エネルギー学科 小林 史尚
- 特別発言 Deputy Director of Division of Healthcare Quality Promotion, Centers for Disease Control and Prevention, GA, USA Michael Bell

g シンポジウム

- 1 JAID/JSC感染症治療ガイド解説
 司会：東京慈恵会医科大学附属柏病院感染制御部 吉田 正樹
 国立研究開発法人国立国際医療研究センター国際感染症センター 大曲 貴夫
- 1) “AID/JSC感染症治療ガイド2014”の解説 眼感染症とその治療薬
 岐阜大学医学部附属病院眼科 望月 清文
- 2) 中耳炎・副鼻腔炎
 和歌山県立医科大学耳鼻咽喉科学教室 保富 宗城
- 3) 急性咽頭・扁桃炎 acute
 旭川医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科 林 達哉
- 4) 歯性感染症
 東海大学医学部外科学系口腔外科学 青木 隆幸
- 5) 腸管感染症
 都立墨東病院感染症科 岩淵千太郎
- 2 真菌感染症トータルマネージメント 真菌感染症の診断・治療・予防はどう決める？
 司会：千葉大学真菌医学研究センター 亀井 克彦
 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科臨床感染症学 泉川 公一
- 1) 血液領域の真菌感染症対策 リスク評価に基づく予防・診断・治療の戦略
 自治医科大学附属さいたま医療センター血液科 木村 俊一
- 2) 呼吸器内科・一般内科領域における真菌感染症のマネージメント
 千葉大学真菌医学研究センター臨床感染症分野 渡辺 哲
- 3) 外科系・救急・集中治療領域の真菌感染症対策ー侵襲下の薬物動態と antifungal stewardshipー
 慶應義塾大学医学部救急医学 佐々木淳一
- 4) 固形臓器移植患者における深在性真菌症のマネージメント

- 京都大学大学院医学研究科臨床病態検査学, 京都大学医学部附属病院検査部・感染制御部 長尾 美紀
5) 真菌性眼感染症の診断と治療—内因性真菌性眼内炎を中心に— 岐阜大学医学部附属病院眼科 望月 清文
6) Antifungal stewardship～我々が介入すべき点はどこなのか～
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科感染免疫学講座臨床感染症学分野 田代 将人
- 3 消化器感染症の最前線 (肝炎, ノロウイルス, *Clostridium difficile*)
司会: 東京大学医学部大学院・生体防御感染症学 四柳 宏
国立感染症研究所ウイルス第二部 片山 和彦
1) 分離菌株解析からおしはかる日本の*Clostridium difficile*感染実態 国立感染症研究所細菌第二部 加藤 はる
2) ノロウイルス研究の新知見 国立感染症研究所ウイルス第二部 片山 和彦
3) 潰瘍性大腸炎は腸内細菌感染症I? 東京慈恵会医科大学附属柏病院消化器・肝臓内科 大草 敏史
4) ウイルス性慢性肝炎に対する治療の進歩—実臨床での経験より
九州大学病院総合診療科, 九州大学大学院感染制御医学 古庄 憲浩
- 4 感染症診断の進歩 検査法の進歩で感染症診療、感染対策がどのように変わるか
司会: 金沢医科大学臨床感染症学 飯沼 由嗣
順天堂大学医学部附属順天堂医院臨床検査部 三澤 成毅
東北大学病院診療技術部検査部門 豊川 真弘
千葉大学医学部附属病院検査部 村田 正太
Virginia Mason Medical Center 千原 晋吾
1) 微生物検査の自動化 亀田総合病院感染症科 細川 直登
2) 質量分析法による微生物迅速同定の臨床効果
3) 微生物遺伝子診断の実態
4) 新しい感染症検査と臨床応用のギャップ—どのように利用すべきか—
- 5 感染症を取り巻くコラポレーションの在り方 司会: 近畿大学医学部附属病院安全管理部感染対策室 吉田耕一郎
広島大学病院感染症科 大毛 宏喜
諏訪中央病院内科, 総合診療部 佐藤 泰吾
白河厚生総合病院総合診療科 宮下 淳
産業医科大学病院感染制御部 鈴木 克典
1) 地域医療における感染症診療・教育の重要性 医療法人鉄蕉会亀田総合病院集中治療科 林 淑朗
2) 病院総合医が関わる感染症診療
3) 膠原病領域における感染症診療
4) 集中治療における感染症科医とのコラポレーション
- 6 感染症と教育
司会: 富山大学 山本 善裕
奈良県立医科大学附属病院 笠原 敬
1) インドネシアにおける医学生教育 福井大学での取り組みについて 福井大学医学部ゲノム科学・微生物学領域 定 清直
2) 卒前卒後にわたる感染症・感染制御教育への取り組み
鳥取大学医学部附属病院感染制御部, 高次感染症センター, 感染症内科 千酌 浩樹
3) 卒後初期研修における感染症教育が病院全体の感染症診療の質に与える良い影響
佐賀大学医学部附属病院感染制御部 濱田 洋平
4) 小児感染症教育における成人感染症プログラムとの連携の必要性 東京都立小児総合医療センター感染症科 堀越 裕歩
5) 臨床感染症教育の均てん化を目的としたe-learningによるレクチャー配信
国立国際医療研究センター国際感染症センター 忽那 賢志
6) 感染症と教育 東京都保健医療公社豊島病院感染症内科 足立 拓也
7) 病院感染症医育成のための多施設連携研修プログラムの取り組み
国立大学附属病院感染対策協議会東海北陸ブロック医師部会 山本 善裕
8) 名古屋大学における「明日の医療の質向上をリードする医師養成プログラム」—感染制御からの取り組み—
名古屋大学大学院医学系研究科臨床感染統御学 八木 哲也
- 7 重症・難治性感染症の病態と対策—微生物の病原性の関与とそのコントロール— 司会: 東京医科大学微生物学分野 松本 哲哉
聖マリ安娜医科大学微生物学/感染制御部 竹村 弘
1) 緑膿菌難治感染症の基礎的背景—バイオフィルムを中心に— 東邦大学医学部微生物・感染症学講座 濱田 将風
2) 病原性制御機構をコントロールする治療的方策 東邦大学医学部微生物・感染症学講座 木村聡一郎
3) 溶連菌の病原性と劇症型レンサ球菌感染症への関与 国立感染症研究所・免疫部 阿戸 学
4) 劇症型A群溶連菌感染症に対する臨床的アプローチ 東京ベイ・浦安市川医療センター 藤谷 茂樹
5) 今後注目すべき病原体—劇症型*Clostridium difficile*感染症— 東京医科大学病院感染制御部 中村 造
6) マクロライド療法の今後の展開 国立感染症研究所真菌部 中村 茂樹
- 8 Antimicrobial stewardship (AMS) に向けて何をすべきか 司会: 京都大学医学部附属病院感染制御部 高倉 俊二
三重大学医学部附属病院薬剤部 村木 優一
国立感染症研究所細菌第2部 鈴木 里和
三重大学医学部附属病院薬剤部 村木 優一
1) 我が国における薬剤耐性菌の現状
2) 我が国における経口薬を含めた抗菌薬使用動向の現状
3) 大学病院ではAMSにどう取り組むべきか—感染制御部専従薬剤師としての活動—
佐賀大学医学部附属病院感染制御部 浦上 宗治
4) 大学病院以外の医療機関はAMSにどう取り組むべきか: 地方中核病院の場合
山梨県立中央病院総合診療科・感染症科 三河 貴裕
京都大学医学部附属病院感染制御部 高倉 俊二
- 9 アウトブレイク対応の実際 司会: 国立感染症研究所感染症情報センター第一室 松井 珠乃
鹿児島大学病院医療環境安全部感染制御部門 徳田 浩一
唐津赤十字病院内科 ICD 宮原 正晴
1) カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE) による院内感染事例 鹿児島大学病院医療環境安全部感染制御部門 徳田 浩一
2) ノロウイルス胃腸炎の院内集団発生事例

- 3) 病院におけるインフルエンザ集団発生事例 国立感染症研究所実地疫学専門家養成コース (FETP) 石金 正裕
4) 侵襲性髄膜炎菌感染症のアウトブレイク対応について 国立感染症研究所感染症疫学センター 神谷 元
- 10 小児・成人ワクチンの新たな動向 司会：東北大学大学院医学系研究科保健学専攻感染分子病態解析学分野 川上 和義
川崎医科大学小児科学 尾内 一信
筑波大学医学医療系小児科 須磨崎 亮
川崎医科大学附属川崎病院小児科 田中 孝明
独立行政法人国立病院機構三重病院小児科 菅 秀
久留米臨床薬理クリニック 池松 秀之
国立病院機構三重病院呼吸器内科 丸山 貴也
愛知医科大学 渡辺 大輔
- 1) 定期接種化が期待されるB型肝炎ワクチンの動向
2) ロタウイルスワクチンは有効で安全か!?
3) ムンプス感染対策とムンプスワクチン
4) インフルエンザワクチンの動向
5) 肺炎球菌ワクチン
6) 帯状疱疹ワクチン
- 11 新興ウイルス感染症：ヒトと動物のインターフェイス 司会：国立感染症研究所ウイルス第一部 西條 政幸
国立国際医療研究センター国際感染症センター国際感染症対策室 加藤 康幸
1) 中東呼吸器症候群～治療と医療施設内感染防止に関する最新情報～ 防衛医科大学校感染症・呼吸器内科 川名 明彦
2) 鳥インフルエンザ H5N1とH7N9 症例から学ぶ治療の実際 国立研究開発法人国立国際医療研究センター呼吸器内科 高崎 仁
3) エボラ出血熱 西アフリカにおける過去最大の流行 国立国際医療研究センター国際感染症センター国際感染症対策室 加藤 康幸
4) 日本における SFTS ウイルスの自然界における存在様式 国立感染症研究所獣医科学部 宇田 晶彦
5) ヒト由来ウイルス感染症と動物由来ウイルス感染症の相違および感染症対策のあり方 国立感染症研究所ウイルス第一部 西條 政幸
- 12 抗菌薬の適正使用 司会：東京慈恵会医科大学葛飾医療センター泌尿器科 清田 浩
亀田総合病院感染症科 細川 直登
1) 薬剤耐性菌マネージメントの実際 欧米とわが国との比較 国立研究開発法人国立国際医療研究センター国際感染症センター 大曲 貴夫
2) 医療機関相互ネットワークにおける課題 東京慈恵会医科大学感染制御部 堀野 哲也
3) 検出すべき耐性菌とモニター体制の確立に向けて 東邦大学医学部微生物・感染症学講座 石井 良和
4) 追加発言 札幌医科大学医学部感染制御・臨床検査医学講座 高橋 聡
- 13 感染症におけるリスクコミュニケーション 司会：防衛医科大学校防衛医学研究センター広域感染症疫学・制御研究部門 加來 浩器
埼玉医科大学国際医療センター感染症科・感染制御科 光武耕太郎
1) 感染症指定医療機関におけるリスクコミュニケーション～エボラ及び MERS対応などを通じて～ 国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院国際感染症センター 堀 成美
2) 新興感染症発生時のリスクコミュニケーションを考える 国立感染症研究所感染症疫学センター第2室(感染症情報室) 砂川 富正
3) 大学病院におけるリスク・コミュニケーション～CRE事例とその影響～ 長崎大学病院感染制御教育センター 寺坂 陽子
4) マスメディアの側から見たリスクコミュニケーションのあり方 日本経済新聞編集委員 高坂 哲郎
- 14 Vector-borne Infection 司会：国立国際医療研究センター研究所 狩野 繁之
国立感染症研究所 高崎 智彦
1) 2014年のデング熱国内流行での最初の確認症例について さいたま市立病院感染症科・感染管理室 川田 真幹
2) わが国における最初のチクングニア熱患者発見のきっかけ 東京医科大学病院国際診療科・渡航者医療センター 水野 泰孝
3) わが国における最初のジカ熱患者3例の報告 国立国際医療研究センター国際感染症センター 忽那 賢志
4) 重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) ～国内で初めての患者の発見に至った経緯と現状～ 山口県立総合医療センター血液内科 高橋 徹
5) わが国初の輸入サルマリア原虫 *Plasmodium knowlesi* 感染症の報告 三重大学大学院伊賀地域医療学講座/名張市立病院総合診療科 谷崎隆太郎
- h 日本化学療法学会合同シンポジウム 1題
感染症治療の新戦略 司会：聖マリアンナ医科大学内科学総合診療内科 國島 広之
川崎医科大学 宮下 修行
1) PK-PD 面からの感染症治療の新戦略 同志社女子大学薬学部臨床薬理学 森田 邦彦
2) 抗菌薬の吸入療法 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析・診断学, 長崎大学病院検査部 賀来 敬仁
3) プロバイオティクス ミヤリサン製薬株式会社東京研究部 高橋 志達
4) Toll-like receptor からみた致死性インフルエンザ肺炎の免疫病理と治療戦略 医療法人社団葵会仙台・太白病院内科, 福島県立医科大学医学部微生物学講座・同感染制御学講座, 東北大学大学院医学系研究科内科病態学講座感染制御検査診断学分野 佐藤由紀夫
5) 新たな抗ウイルス薬の開発とその将来展望 東北大学大学院医学系研究科内科病態学講座感染制御検査診断学分野 東北メディカル・メガバンク機構地域医療支援部門 児玉 栄一
- i 日本結核病学会共同シンポジウム 1題
結核の基本に立ち返る 司会：国立病院機構東京病院呼吸器センター 永井 英明
公益財団法人結核予防会複十字病院呼吸器センター呼吸器内科 佐々木結花
1) 結核とはどういうものかー結核の感染, 免疫, 病態ー 国立病院機構近畿中央胸部疾患センター臨床研究センター感染症研究部 露口 一成

- 2) 結核の診断の基本とピットフォール 公益財団法人結核予防会複十字病院呼吸器センター 森本 耕三
 3) 結核治療の基本 国立病院機構東京病院呼吸器センター 鈴木 純子
 4) 結核の予防 潜在性結核感染症の診断と治療 千葉大学医学部附属病院感染制御部・感染症内科 猪狩 英俊
- j 日韓メモリアルセミナー 3題
- 1 The History and Role of Korean Society of Infectious Diseases in Korea
 司会：慶應義塾大学医学部感染症学教室 岩田 敏
 Division of Infectious Diseases, Department of Internal Medicine,
 Korea University College of Medicine, Seoul, Korea Woo Joo Kim
- 2 One health approaches to zoonotic diseases : HAPI and MERS
 司会：群馬大学, 一般社団法人薬剤耐性菌教育研究会 池 康嘉
 College of Veterinary Medicine, Seoul, Korea Yong Ho Park
- 3 Epidemiological and Clinical Characteristics of the Middle East Respiratory Syndrome Coronavirus Outbreak in Korea
 司会：国立感染症研究所感染症疫学センター 大石 和徳
 Department of Internal Medicine, Seoul National University College of Medicine, Seoul, Korea Myoung-don Oh
- k One Health レクチャー Human 4題
- 1 腸内フローラのマイクロバイオーム研究
 司会：琉球大学大学院医学研究科感染制御医科学専攻感染症・呼吸器・消化器内科学 藤田 次郎
 早稲田大学理工学術院先進理工学研究所 服部 正平
- 2 HIV感染症：次の世代への臨床的課題
 司会：済生会山形済生病院呼吸器内科 武田 博明
 国立研究開発法人国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター 岡 慎一
- 3 狂犬病～この古くて忘れ去られた死の感染症～これまでとこれから
 司会：福岡市立こども病院 青木 知信
 大分大学医学部微生物学 西園 晃
- 4 動物を介した耐性菌感染症の実態
 司会：帝京大学医学部微生物学講座 斧 康雄
 東邦大学医学部微生物・感染症学講座 石井 良和
- l One Health レクチャー Animal 3題
- 1 食用動物に由来する抗菌薬耐性菌の現状と対策
 司会：群馬大学医学部附属病院感染制御部 徳江 豊
 酪農学園大学獣医学群衛生・環境学分野食品衛生学 田村 豊
- 2 鳥インフルエンザ Up to Date
 司会：一般財団法人神奈川県警友会けいゆう病院小児科 菅谷 憲夫
 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合機構 (NARO) 西藤 岳彦
- 3 ヒトとペットの共通感染症』の【質・量に変化】～うつ様症状, 登校拒否, 咽喉頭違和感, 等～
 病気未満, 健康以下！
 司会：鹿児島大学大学院医歯学総合研究科微生物学分野 西 順一郎
 日本大学医学部病態病理学系臨床検査医学分野 荒島 康友
- m One Health レクチャー Environment 3題
- 1 多摩川における抗生物質耐性菌の生息調査と水槽飼育魚の腸内耐性菌数変移
 司会：広島県感染症・疾病管理センター 桑原 正雄
 東京海洋大学大学院 浦野 直人
- 2 空気感染対策としての室内空気紫外線殺菌の活用
 司会：倉敷中央病院呼吸器内科 石田 直
 東京大学生産技術研究所 加藤 信介
- 3 レジオネラ属菌による水系汚染とその対策
 司会：岡山大学医学部感染症内科 草野 展周
 国立感染症研究所 遠藤 卓郎
- n ベーシックレクチャー 5題
- 1 疥癬診療ガイドライン-イベルメクチンとフェノトリンによる疥癬撲滅作戦-
 司会：名古屋市立大学看護学部 鈴木 幹三
 国立感染症研究所ハンセン病研究センター 石井 則久
- 2 わが国における渡航医学の現状と今後の展望
 司会：東京医科大学病院渡航者医療センター 濱田 篤郎
 久留米大学医学部感染制御学講座 渡邊 浩
- 3 グローバルな感染症危機管理
 司会：国立病院機構三重病院臨床研究部 谷口 清州
 東北大学病院 中島 一敏
- 4 ボツリヌス症, 破傷風, および, *Clostridium difficile*感染症におけるベーシックス
 司会：社会医療法人厚生会木沢記念病院中央検査センター 渡邊 邦友
 国立感染症研究所細菌第二部 加藤 はる
- 5 在宅ケアにおける感染症と感染対策
 司会：福岡歯科大学総合医学講座小児科学分野 岡田 賢司
 沖縄県立中部病院感染症内科・地域ケア科 高山 義浩
- o Young Investigator レクチャー 10題
- 1 菌血症診療の最適化～Sticky bug への対応を中心に
 司会：名古屋大学大学院医学系研究科臨床感染統御学分野 八木 哲也
 京都大学医学部附属病院検査部・感染制御部 長尾 美紀
- 2 耐性菌対策は, 薬剤感受性試験のみで十分か? 当院で経験した, バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE),
 市中感染型MRSA (CAMRSA: USA400株) とカルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE) を実例に考える
 司会：宮崎大学医学部内科学講座免疫感染病態学分野 岡山 昭彦
 一般財団法人平成紫川会小倉記念病院感染管理部 宮崎 博章
- 3 カンジダ研究の軌跡と今後の展望
 司会：佐賀大学医学部国際医療学講座・臨床感染症学分野 青木 洋介
 長崎大学第2内科 宮崎 泰可

- 4 一つの発見から得た大きな財産～SHV12型ESBL産生大腸菌感染症の経験から～
司会：奈良県立医科大学健康管理センター 古西 満
神戸大学医学部附属病院検査部/感染制御部 中村 竜也
- 5 嫌気性菌感染症の難治化要因としての薬剤耐性とバイオフィーム
司会：大阪市立大学大学院医学研究科臨床感染症制御学 掛屋 弘
愛知医科大学病院感染症科，愛知医科大学病院感染制御部 山岸 由佳
- 6 病院における耐性菌マネジメント—高信頼性組織を目指した取り組み 司会：杏林大学医学部総合医療学教室 河合 伸
東京慈恵会医科大学 中澤 靖
- 7 わが国における市中感染型MRSAの動向と問題点
司会：北里大学生命科学研究所感染制御学講座感染制御研究センター 花木 秀明
東邦大学医学部微生物・感染症学講座 山口 哲央
- 8 感染免疫から考える呼吸器感染症の発症・重症化のメカニズムとその制御～肺炎球菌感染症を中心に～
司会：新潟市民病院感染症・呼吸器内科 塚田 弘樹
国立感染症研究所真菌部 中村 茂樹
- 9 諸刃の剣『抗菌薬』の扱い方～感染症診療における医師と薬剤師の連携～
司会：慶應義塾大学薬学部実務薬学講座 木津 純子
東京大学医学部附属病院薬剤部 高山 和郎
- 10 耐性菌感染症の新たな治療法の探索—抗菌薬腎障害の機序解明と予防法の開発
司会：東京医科大学八王子医療センター感染症科 藤井 毅
新潟大学医歯学総合病院集中治療部 青木 信将
- p ワークショップ
蚊媒介感染症専門医療機関ネットワークの強化を目指して 司会：国立国際医療研究センター研究所 狩野 繁之
国立感染症研究所感染症疫学センター 大石 和徳
1) 蚊媒介感染症の疫学情報のアップデート 国立感染症研究所実地疫学専門家養成コース 藤谷 好弘
2) 蚊媒介感染症と渡航医学 東京医科大学病院渡航者医療センター 濱田 篤郎
3) マラリア診療の課題 国立国際医療研究センター国際感染症センター 竹下 望
- q 委員会報告
司会：三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス実務委員会委員長、東北大学加齢医学研究所抗感染症薬開発研究部門 渡辺 彰
1) 尿道炎：クラミジア・トラコモナス 三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス実務委員、岐阜大学医学部泌尿器科 安田 満
2) 呼吸器感染症 三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス実務委員、長崎大学大学院病態解析・診断学分野/長崎大学病院検査部 柳原 克紀
3) 手術部位感染 (SSI) 三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス実務委員 (領域責任者)、兵庫医科大学感染制御学 竹末 芳生
- r モーニングセミナー
1 HIV感染症の治療 今、ここが知りたい～テビケイ・トリーメクに関する疑問点を中心に～
司会：ヴィーブヘルスケア株式会社 三浦 聡之
ヴィーブヘルスケア株式会社 古賀 一郎
ヴィーブヘルスケア株式会社 三浦 聡之
塩野義製薬株式会社 藤原 民雄
2 血液領域における深在性真菌症の克服に向けた予防・治療選択
司会：東北大学大学院医学系研究科血液・免疫病学分野 張替 秀郎
国家公務員共済組合連合会虎の門病院血液内科 森 有紀
- s ランチョンセミナー
1 多職種連携による抗菌薬適正使用～やればできる～ 司会：奈良県立医科大学感染症センター 笠原 敬
筑波大学医学医療系・水戸協同病院グローバルヘルスセンター感染症科 矢野 晴美
2 Do you know the concept of “anti-anaerobic quinolone”? 司会：大分大学医学部呼吸器・感染症内科学講座 門田 淳一
愛知医科大学大学院医学研究科臨床感染症学 三嶋 廣繁
3 感染症診療を変える微生物検査の進歩—質量分析装置 (MALDI-TOF MS) の役割を中心に—
司会：京都大学大学院医学研究科臨床病態検査学 一山 智
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析・診断学分野 (臨床検査医学) /長崎大学病院検査部 柳原 克紀
4 インフルエンザ診療の最近の動向 司会：琉球大学医学部附属病院 藤田 次郎
東北医科薬科大学病院感染制御部 関 雅文
5 肺炎球菌ワクチンに関する最新の話—高齢者に対する23価肺炎球菌ワクチンの再接種を含めて—
司会：独立行政法人国立病院機構東京病院呼吸器センター 永井 英明
独立行政法人国立病院機構長崎川棚医療センター呼吸器内科 川上 健司
6 司会：昭和大学医学部内科学講座臨床感染症学部門
1) 成人肺炎球菌ワクチンの臨床効果における免疫機序～2つのワクチンはどう違うか？
東北大学大学院医学系研究科感染分子病態解析学分野 川上 和義
2) 肺炎球菌ワクチン接種をどう進める (勧める) か？—臨床現場での格闘と葛藤—
板橋中央総合病院呼吸器内科 高尾 匡

- 7 Tenofovir based regimenの臨床的有用性
 司会：横浜市立市民病院感染症内科 立川 夏夫
 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター 瀧永 博之
 国立病院機構大阪医療センター臨床研究センターエイズ先端医療研究部 渡邊 大
- 8 結核と非結核性抗酸菌症に関する話題
 司会：済生会横浜市東部病院 川城 丈夫
 慶應義塾大学医学部感染制御センター 長谷川直樹
- 9 ミクロビオータと感染症
 司会：杏林大学医学部感染症学講座 神谷 茂
 1) ミクロビオータの最近の話題 愛知医科大学病院感染症科/感染制御部 山岸 由佳
 2) ミクロビオータ研究と感染制御 聖マリアンナ医科大学内科学総合診療内科 國島 広之
- 10 敗血症診療改善のために
 司会：兵庫医科大学病院感染制御部 竹末 芳生
 国立成育医療研究センター病院集中治療科 中川 聡
- 11 重症感染症の最近の話題—基礎から臨床まで—
 司会：神戸大学医学部附属病院感染制御部 荒川 創一
 1) 救急・集中治療領域における抗菌薬バンドル～MRSA感染症を中心に～
 広島大学大学院医歯薬保健学研究院応用生命科学部門救急集中治療医学 志馬 伸朗
 2) 劇症型感染症の発症メカニズム—呼吸器感染症からの考察— 東邦大学医学部微生物・感染症学講座 館田 一博
- 12 成人の肺炎における原因菌の動向と治療
 司会：長崎大学大学院医歯薬学総合研究科呼吸器内科学分野第二内科 迎 寛
 大分大学医学部呼吸器・感染症内科学講座 梅木 健二
- 13
 司会：九州医療センター 山本 政弘
 1) 最新HIV感染症治療ガイドラインの解説 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科 鯉淵 智彦
 2) ガイドラインに基づいた治療の実際 国立国際医療研究センターエイズ治療研究開発センター 瀧永 博之
- 14 血液疾患における発熱性好中球減少症の治療戦略～血液疾患を中心とした治療全般およびバイオマーカー～
 司会：帝京大学医学部附属溝口病院第四内科 吉田 稔
 岩手医科大学内科学講座血液腫瘍内科分野 小宅 達郎
- 15 抗インフルエンザ薬の効果とワクチンの効果についての最新情報 日本の臨床現場で集められたデータを中心に
 司会：特定医療法人大坪会北多摩病院/東京女子医科大学) 戸塚 恭一
 日本臨床内科医会インフルエンザ研究班/久留米臨床薬理クリニック 池松 秀之
- 16 耐性菌の発生抑制を見据えた感染症への新たな戦略
 司会：埼玉医科大学感染症科・感染制御科 前崎 繁文
 東京女子医科大学感染症科 菊池 賢
- t イブニングセミナー
 1 bioMerieux 5th World HAI Resistance Forumフィードバックセミナー
 司会：愛知医科大学大学院医学研究科臨床感染症学 三嶋 廣繁
 1) The Global Point Prevalence Survey of Antimicrobial Consumption and Resistance (Global-PPS).
 ～抗菌薬の使用状況と耐性に関する国際調査：世界と日本の抗菌薬使用状況について～
 Laboratory of Medical Microbiology, Vaccine & Infectious Disease Institute (VAXINFECTIO) ,
 Faculty of Medicine and Health Science, University of Antwerp, Antwerp, Belgium Herman Goossens
 2) 日本の医療機関での抗菌薬使用状況～Global PPSの結果からわかること～ 東北大学病院総合感染症科 具 芳明
- 2 小児の脳炎・脳症：現在と未来
 司会：岡山労災病院 森島 恒雄
 愛知医科大学小児科 奥村 彰久
- 3 侵襲性カンジダ症の抗真菌薬の使い分け (Antifungal stewardship: AFS) を考える
 司会：社会福祉法人新潟市社会事業協会信楽園病院 青木 信樹
 愛知医科大学病院感染症科/感染制御部 山岸 由佳
- 4 感染管理ベストプラクティスをはじめよう！
 司会：京都府立大学 藤田 直久
 1) 感染管理ベストプラクティスとは 特定非営利活動法人日本感染管理支援協会 土井 英史
 2) 感染管理ベストプラクティスプログラムと地域連携～北海道ブロックの状況～ 北海道大学病院感染制御部 石黒 信久
 3) 新型インフルエンザ等対策における感染管理ベストプラクティス 三重大学医学部附属病院 田辺 正樹
- 5 感染対策とノンテクニカルスキル—Team STEPPSの活用
 司会：慶應義塾大学医学部感染症学 岩田 敏
 東京慈恵会医科大学附属病院感染対策室 中澤 靖
- 6 今、押さえておきたい国際感染症の対応
 司会：福島県立医科大学 金光 敬二
 国立国際医療研究センター病院 大曲 貴夫
- 7 重症感染症にどう対応するか？～検査の重要性とペニシリン系薬を軸とした治療選択を再考する～
 司会：奈良県立医科大学感染症センター 三笠 桂一
 東北医科薬科大学病院感染症科・感染制御部 関 雅文
- 8 HIV感染症治療をめぐる最新事情
 司会：琉球大学 健山 正男
 1) 症例を通して考えるHIV診療の課題と対策 東京医科大学病院 村松 崇
 2) 治療薬選択が完成しつつある抗HIV療法時代におけるエビデンスに基づいた薬剤選択のポイント
 横浜市立市民病院 立川 夏夫
- 9 インフルエンザ対策の問題点 ワクチンと抗インフルエンザ薬
 司会：複十字病院 後藤 元
 神奈川県警友会けいゆう病院 菅谷 憲夫
- u 症例から学ぶ感染症セミナー
 司会：愛知医科大学大学院医学研究科臨床感染症学 三嶋 廣繁
 東京医科大学微生物学分野 松本 哲哉
 1) 症例 1 岐阜大学医学部附属病院眼科 西田 崇、望月 清文

2) 症例 2

国立感染症研究所真菌部 宮崎 義継
健和会大手町病院 水野なずな、山口 征啓
千葉大学真菌医学研究センター臨床感染症分野 渡辺 哲
1 題

v ICD講習会

地域連携と one health

司会：福島県立医科大学医学部感染制御学 金光 敬二

東北大学大学院医学系研究科内科病態学講座感染制御・検査診断学分野 中島 一敏

1) Zoonosisと新興・再興感染症—One healthから考える対策— 国立病院機構三重病院臨床研究部 谷口 清州

2) プラスミドで広がる薬剤耐性菌感染症 (CRE、ESBLを中心に) 奈良県立医科大学微生物感染症学講座 矢野 寿一

3) 感染症診療における地域連携 (サーベイランスとAntimicrobial stewardship) 東北医科薬科大学病院感染症科・感染制御部 関 雅文

4) 感染症対策における地域連携加算の課題 東北大学病院感染管理室 遠藤 史郎

特別発言 東北大学大学院医学系研究科内科病態学講座感染制御・検査診断学分野 賀来 満夫

3. 雑誌刊行

1) 感染症学雑誌

90巻1号より逐次刊行した。

地方会学術集会プログラムを掲載した。

2) Journal of Infection and Chemotherapy

Vol.22, No.1より逐次刊行した。

インパクトファクター：1.425

4. 地方会

・第65回東日本地方会学術集会は、平成28年10月26日～28日の3日間、塚田弘樹会長のもとで第63回日本化学療法学会東日本支部総会 (徳江豊会長) と合同で新潟市・朱鷺メッセで行われた。

特別講演 2題、招請講演 2題、特別企画 1題、Meet the up-front translation researchers 1題、シンポジウム 5題、スポンサードシンポジウム 1題、ワークショップ 6題、スポンサードワークショップ 1題、教育講演 11題、クローズアップトピックス 1題、感染症セミナー 1題、教育セミナー 16題、イブニングセミナー 1題、ICD講習会 1題
一般演題 237題 (感染症：159題、化療：78題)

参加人数 1080名

・第59回中日本地方会学術集会は、竹末芳生会長のもとで、第86回西日本地方会学術集会は、藤田次郎会長のもとで平成28年11月24日～26日の3日間、第64回日本化学療法学会西日本支部総会 (青木洋介会長) と合同開催で宜野湾市・沖縄コンベンションセンターで行われた。

招請講演 1題、会長講演 3題、特別講演 2題、教育講演 13題、シンポジウム 2題、緊急シンポジウム 1題、JICAシンポジウム 1題、パネルディスカッション 4題、ワークショップ 2題、感染症セミナー 1題、アフタヌーンセミナー 6題、ランチョンセミナー 13題、ICD講習会 1題

一般演題 537題 (中日本：212題、西日本：200題、西日本化療：125題)

参加人数 1326名

5. 院内感染対策講習会

1) 講習場所、期間及び人員

2) 講習内容

1. ①院内感染対策に関して、地域において指導的立場を担うことが期待される病院等の従事者を対象とした院内感染対策に関する講習会

院内感染対策のシステム化・連携	45分
院内感染関連微生物 (新しい話題の感染症の種類と特徴を含む) と微生物検査	45分
医療機関における感染制御の基本	45分
院内ラウンドの実際とそのポイント	45分
抗菌薬および消毒薬の使用と管理	45分
医療器材関連感染	45分
呼吸器感染対策	45分
周術期感染対策	45分
血液媒介感染対策および職業感染対策等	45分
院内感染対策に関連する環境整備	45分
アウトブレイク対応の実際	45分
地域における感染対策のネットワーク構築	45分
院内・施設内感染関連法令	40分

パネルディスカッション	80分
2. ②. ①の受講対象となる医療機関と連携し、各医療機関の院内感染対策の推進を図ることを目的とした講習会	
院内感染対策のシステム化・連携	45分
院内感染関連微生物（新しい話題の感染症の種類と特徴を含む）と微生物検査	45分
医療機関における感染制御	45分
高齢者介護施設における感染制御	45分
洗浄・消毒・滅菌の基本と実際	45分
抗菌薬の適正使用（薬剤の選択と投与計画）	45分
医療器材関連感染	45分
呼吸器感染対策	45分
血液媒介感染対策および職業感染対策	45分
周術期感染対策	45分
院内感染対策に関連する環境整備	45分
アウトブレイク対応の実際と地域ネットワーク・地域連携	45分
院内・施設内感染関連法令	40分
パネルディスカッション	80分
3. ③高度な医療を提供する特定機能病院等の院内感染対策の推進及び近隣医療機関等への指導助言体制の充実を図ることを目的とした講習会	
大規模施設における感染対策システムの構築	45分
地域ネットワークと感染防止対策加算ⅠとⅡの施設の連携法	45分
院内感染関連微生物（新しい話題の感染症の種類と特徴を含む）の国内外での情報	45分
新興感染症への対応（インフルエンザ、MERS-コロナウイルス感染症対策を含め）	45分
多剤耐性菌検出時のICTによる介入ならびにアウトブレイク対応	45分
院内感染対策のための情報活用	45分
デバイス関連感染症（血流、尿路、人工呼吸器）のサーベイランスとその予防対策	45分
手術患者における感染対策	45分
抗菌薬の適正使用	45分
日常的衛生管理	45分
院内・施設内感染関連法令	40分
感染対策活動事例の紹介	45分
パネルディスカッション	80分

①. 院内感染対策に関して、地域において指導的立場を担うことが期待される病院等の従事者を対象とした院内感染対策に関する講習会

めぐろパーシモンホール	(医師)	平成29年 1月 25日、26日	82名
	(看護師)	平成29年 1月 25日、26日	196名
	(薬剤師)	平成29年 1月 25日、26日	103名
	(臨床検査技師)	平成29年 1月 25日、26日	95名
神戸国際会議場メインホール	(医師)	平成29年 1月 12日、13日	86名
	(看護師)	平成29年 1月 12日、13日	198名
	(薬剤師)	平成29年 1月 12日、13日	89名
	(臨床検査技師)	平成29年 1月 12日、13日	87名

②. ①の受講対象となる医療機関と連携し、各医療機関の院内感染対策の推進を図ることを目的とした講習会

フォレスト仙台	(医師)	平成28年12月 12日、13日	17名
	(看護師)	平成28年12月 12日、13日	95名
	(薬剤師)	平成28年12月 12日、13日	35名
	(臨床検査技師)	平成28年12月 12日、13日	33名
有楽町朝日ホール	(医師)	平成29年 1月 19日、20日	56名
	(看護師)	平成29年 1月 19日、20日	204名
	(薬剤師)	平成29年 1月 19日、20日	88名
	(臨床検査技師)	平成29年 1月 19日、20日	82名
奈良県文化会館国際ホール	(医師)	平成28年12月 15日、16日	50名
	(看護師)	平成28年12月 15日、16日	179名
	(薬剤師)	平成28年12月 15日、16日	74名
	(臨床検査技師)	平成28年12月 15日、16日	66名
長崎大学医学部記念講堂	(医師)	平成29年 2月 8日、9日	47名
	(看護師)	平成29年 2月 8日、9日	124名
	(薬剤師)	平成29年 2月 8日、9日	45名
	(臨床検査技師)	平成29年 2月 8日、9日	49名

- ③. 高度な医療を提供する特定機能病院等の院内感染対策の推進及び近隣医療機関等への指導助言体制の充実を図ることを目的とした講習会

神戸国際会議場 国際会議場

平成29年 1月 12日、13日 118名

合計 2298名

6. 感染症専門医審議委員会

1) 感染症専門医試験合格者 80名 (敬称略)

阿部 雅広	池田 浩	池田 祐一	伊藤 健太	猪股 真也	今井雄一郎	井本 成昭	宇野 俊介
浦 和也	宇留賀公紀	遠海 重裕	大串 大輔	大城 雄亮	大津 聡子	大野 史郎	大場 邦弘
岡田 健作	岡本 耕	岡本 健志	奥井秀由起	角田梨紗子	神山 治郎	浦原 英伸	川口 剛
川田 潤一	神野 俊介	喜安 嘉彦	齋藤 和義	阪下健太郎	坂本 憲穂	櫻井 隆之	佐藤 昭裕
澤 友歌	篠原 浩	渋江 寧	清水 昭宏	田頭 保彰	高橋 佳紀	高宮みさき	竹内 典子
竹田 正秀	龍野 桂太	田中 悠平	堤 直之	寺嶋 毅	戸川 温	豊川 貴生	中野 哲志
中拂 一彦	名嘉村 敬	中村 信元	錦 信吾	西田留梨子	野上 侑哉	野田 昌昭	野村 憲一
萩谷 英大	橋本 亜希	橋本 英樹	馬場 啓聡	濱 峰幸	濱田 洋通	濱田 洋平	原 拓磨
坂東 修二	彦根 麻由	平井 潤	藤岡 研	藤川 祐子	藤村 至	古畑 匡規	正木 克宜
松島 秀和	峰松明日香	宮澤 祥一	柳澤 邦雄	山口 浩樹	柚木 知之	吉藤 歩	米川 晶子

2) 更新者 179名

平成29年1月1日現在専門医数 1361名

3) 指導医 30名

4) 感染症専門医認定研修施設 277施設 (ホームページ参照)

5) 専門医育成経過措置としての連携研修施設 37施設 (ホームページ参照)

6) 感染症サマースクール2016

平成28年8月6日(金)～7日(土) 品川プリンスホテル

参加者: 36名

7. ワクチン委員会

1) 12月18日(日)にアクロス福岡において市民公開講座「ワクチンで変わる、感染症とのたたかい2016」を開催した(参加者:165名)。

2) “風疹ゼロ”プロジェクトに賛同した。

8. 危機管理委員会

1) ジカウイルス感染症協力医療機関を募集した

2) 6月5日(日)東京コンファレンスセンター・品川においてジカウイルス感染症協力医療機関講習会を開催した

3) 6月5日(日)東京コンファレンスセンター・品川において市民公開講座「ジカ熱から妊婦を守るために」を開催した。

9. 保険委員会

1) 下部組織として遺伝子検査検討委員会を立ち上げた。

2) 自動迅速遺伝子検査システムの国内での状況やニーズについて、会員にアンケートを依頼した。

10. 肺炎球菌ワクチン再接種問題検討委員会

2009年に公表した「肺炎球菌ワクチン再接種に関するガイドライン」の改訂作業を行った。

11. 3月2日(水)～5日(土)にインド・ハイデラバードで開催された第17回国際感染症学会においてシンポジウム「Diagnosis and Treatment of Carbapenem-resistant Enterobacteriaceae」を共催した。

12. ガイド・ガイドライン作成委員会 (日本化学療法学会と合同)

1) 「JAID/JSC感染症治療ガイドライン2016 菌性感染症」を感染症学雑誌90巻4号に掲載した。

2) 呼吸器感染症ガイドラインをJICにオープンアクセスにて掲載した。

3) 「JAID/JSC感染症治療ガイドライン2015 尿路感染症男性性器感染症」をJICに投稿した。

4) 「JAID/JSC感染症治療ガイドライン2015 腸管感染症」をJICに投稿した。

13. 四学会合同事業セミナー

8月28日(日)にヤクルトホールにおいて動物用抗菌剤研究会との合同セミナー「One Healthから見た耐性菌の現状と課題」を開催した。(参加人数:206名)

14. 11月6日(日)イイノホール&カンファレンスセンターにおいて「新型インフルエンザの診療と対策に関する研修」を日本呼吸器学会と共催して行った(主催:厚生労働省)。プログラムについては厚生労働省HP参照。

15. 4月5日に抗菌薬の適正使用に向けた8学会提言「抗菌薬適正使用支援 (Antimicrobial Stewardship: AS) プログラム推進のために」を公表した。
16. 薬剤耐性菌感染症を対象とした抗菌薬臨床評価ガイドライン作成に関する合同委員会において「薬剤耐性菌感染症に対抗するための国際的コンセンサス グローバルデータベース構想とイノベーション戦略 (Innovational Strategy to Overcome Antimicrobial Resistant Bacterial Infection)」を作成した。
17. 三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス委員会
第8回 (2016年) RTI、尿道炎 (淋菌・クラミジア)
18. ICD制度協議会 新規認定者 147名 総認定者数 3,475名 (当学会推薦)

※上記事業報告については、感染症学雑誌に掲載の議事録参照。

庶務報告

1. 会員数 正会員：11,306名 賛助会員：17件 平成29年2月28日現在
除名については該当者無し
2. 第90回日本感染症学会総会は平成28年4月15日、仙台国際センターにおいて行った。
3. 平成28年度評議員会は平成28年4月15日、仙台国際センターにおいて行った。
4. 理事会は5回行った。
5. 感染症学雑誌編集委員会は6回行った。
Journal of Infection and Chemotherapy編集委員会は6回行った。
6. 学会賞選考委員会は1回行った。
7. 専門医審議会は1回行った。新専門医制度WGは1回行った。専門医試験委員会は5回行った。
8. 感染症セミナー会議は4回行った。
9. リネゾリド適正使用推進委員会は1回行った。
10. 肺炎球菌ワクチン再接種問題検討委員会は2回行った。
11. 遺伝子検査検討委員会は2回行った。
12. 薬剤耐性感染症を対象とした抗菌薬ガイドライン作成に関する合同委員会は3回行った。
13. 四学会理事長懇談会は1回行った。
14. 経理事務打合会は1回行った。